



祝

令和7年行方市二十歳のつどい

令

和7年二十歳のつどいが、
1月12日（日）、行方市文化
会館で開催されました。

本年度二十歳を迎える人は、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた、市内在住者および市立中学校卒業生319人です。

この年代の皆さんは、学生時代に新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校生活でさまざまな制限を強いられてきた世代になります。

学生時代はマスクをつけての生活で、当時はお互いの距離を取り、写真を撮る際も、どこか遠慮をして撮らざるを得ませんでした。しかし、この日は、晴れ着に身を包んだ若者たちが、近況を語り合ったり、久しぶりに会う友人と写真を撮ったりと、会場はたくさんの笑顔であふれていました。

二十歳の抱負

実行委員長

実行委員の皆さんに抱負を聞きました。



横山颯耶さん
誰からも頼られる人になる



小島彩瑛子さん
自分らしく、一歩ずつ



羽生輝さん
一日を大切に挑戦していく人になる



理崎彩加さん
国家試験合格に向け、勉学に励みます！



高橋壮斗さん
1人でも多くの人を笑顔にさせられる人間に



企

画・進行は、卒業した中学校の代表で構成する実行委員が中心となって行いました。

実行委員の呼びかけで行った社会貢献活動では、令和6年能登半島地震に関わる災害義援金の募金を行い、参加者一人一人が協力に応じていました。

式典では、市長から「二十歳という人生の新たな門出を迎え、将来への夢や希望を胸に、晴れやかな気持ちでいっぱいのことと思います。これからは、今まで以上に責任ある生き方や言動が求められます。どうか、その自覚をしっかりと持ち、これからの人生を丁寧に、そして力強く歩んでいただきたいと思います。」と励ましの言葉がありました。

式典後のアトラクションでは、中学校時代の先生方からお祝いの言葉をいただきました。また、実行委員が中心となって作成した思いの動画上映では、たくさんの歓声や笑い声が響き、会場全体は当時を懐かしむ雰囲気包まれていました。

未来に向けて羽ばたく二十歳の皆さんの、今後のご活躍を期待しています。



小嶋圭乃さん
綺麗で芯のある強いお姉さんになりたい



橋本倅志朗さん
子どもたちの明るい未来の可能性を信じてともに育む



渡辺葉月さん
笑顔あふれる人生を歩む



関口翔太さん
自分を信じ、挑戦を恐れず、未来を切り拓く



川島梨聖さん
人々の気持ちに寄り添い、支えになりたい



龍崎創平さん
地元へ貢献し、お世話になった方々に恩返ししたい

二十歳の記憶 使い切りカメラでのフトリポート

二十歳の皆さんの親世代には懐かしい『使い切りカメラ』。しかし、皆さんにとっては、新鮮な体験かと思います。世代を超えて愛されるこの使い切りカメラ。記念すべき瞬間を参加者の皆さんに記録してもらいました。

こだわりのネイル!



久しぶりの再会



式典前に一枚



式典の休憩中に



仲よし三人組



二十歳の記念に!



実行委員長おつかれ!



祝!二十歳!



二十歳を迎えての抱負

—代表発表—（要約）

現時点では、幅広い分野のさまざまな授業を履修しているため、学んでいるのが、どのような形で何に生かせるのか、明確な見通しが持てません。しかし、どのような形であっても、生活をより豊かにし、自然を犠牲にするようなことのない開発に関わるような仕事で、社会に貢献していけるよう精進して参りたいと思います。

現在、私は大学で化学を専攻し、分析や合成などについて日々学んでいます。タスクが多く、目の前のことでいっぱいになってしまいがちな生活の中、帰省するたびに慣れた自然やあたたかい人たちに心が癒やされます。また、さまざまな挑戦や失敗、成功の経験が詰まっているこの行方市が、新たなことに挑戦し頑張る力を与えてくれることに、離れたことで初めて気が付くことができました。

私は、高校を卒業後、大学進学のため県外で生活しています。見知らぬ街で知り合いもない中で生活を始める上で、自分が帰ることのできる場所としての行方市の存在が支えとなっていました。



小島 彩瑛子さん



横山 颯耶さん

私は、社会人二年目ですが、上司から言われた言葉があります。それは「自分をほめる」ということです。毎日が楽しいことばかりではありません。時には失敗したり、嫌なことがあったりします。その分、うまくいった時の喜びは、何とも言えない喜ばしさを感じます。そんな時に「自分で自分をほめる」という行動をとると自然と嫌なことは忘れていき、また明日から頑張ろうと、思いを新たにすることが出来ます。

社会人になって一番大切にしたいことは、出会いと人々との縁のつながりです。人は、一人では生きていけません。今までも、誰かに支えられて二十年間生きてきました。これからも地域の方々、仕事関係の方々、これから出会う方々とのつながりを大切に過ごしていきたいと思えます。まだまだ未熟な私たちにご指導のほどよろしく願います。

